

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和6年1月25日

事業所名:おりーぶ瑞穂

サービス種類:放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じてスペースを確保している。人数に応じて教室を分けており、ソーシャルディスタンスの確保を図っている。	事業所内を見る機会がないのでわからないという保護者もいるが、大多数が適切なスペースを確保していると評価している。	コロナ禍の影響で見学をする機会が持てなかった。時期を見ながら事業所内見学を実施予定である。
	2 職員の適切な配置	スタッフ一名に対し、子どもが1人~2人になるように配置されている。専門職スタッフが各教室に配置されている。	大多数が適切であると評価している。	コロナ禍の影響で見学をする機会が持てなかった。時期を見ながら事業所内見学を実施予定である。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	介助者と一緒に入ることのできる広いトイレがある。必要な児には絵カードやスケジュールボード、目盛りがわかりやすい時計など意思伝達手段を提供し、特性に応じた対応をしている。	おおむね適切な設備配備がなされているといえる。	コロナ禍の影響で見学をする機会が持てなかった。時期を見ながら事業所内見学を実施予定である。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	空間除菌剤を使用している。テーブルやパーテーションなど設備やおもちゃはアルコールで消毒している。また、マットなどもシーツを定期的に洗濯したり、マットを除菌し天日干ししたりしている。	事業所内は清潔に保たれている。	子どもたちが活動しやすいよう、部屋の模様替えを行った。また、コロナ禍の影響で見学をする機会が持てないままであったが、事業所内を見たことがない保護者に対しても、事業所内の様子を発信していく必要がある。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員に対し、参画の呼びかけを行っている。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施している。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部の研修に積極的に参加できるよう研修情報を回覧にし、会社が費用を負担している。専門職のスタッフが必要に応じて他スタッフに対し会議などでのアドバイス、研修を行っている。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児発管、担当指導員、セラピストで会議の場を設けて計画を作成している。		今後も職員間での会議を継続して行っていき、質の向上を図っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者と連絡をとり、デイにおける現在の状況・課題を伝えたくてニーズを細かく聴取し計画作成している。	計画内容などをもう少し具体的にしてほしいというご意見もある一方で、大多数から子どもと保護者にとって適切な支援を提供しているとの評価をいただいている。	今後も保護者への丁寧なニーズの聞き取り継続して行っていき、質の向上を図っていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者に対してできるだけ簡易な言葉でわかりやすい計画書を作成し、目標を共有できるようにしている。		今後も継続して行っていき、より具体的な支援計画の作成を図っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画の内容について、指導員が理解して適切に支援している。	成長に応じて到達目標や支援計画を設定し、積極的に支援している。	今後も継続して行っており、質の向上を図っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	児発管、担当指導員、セラピストで会議をし、プログラムの立案・検討を行い、プログラムの実行はセラピスト等専門職のスタッフがアドバイス等しながら実施している。	季節の行事等に合わせたイベントを立案・実施しており、大多数が活動プログラムが固定化しないよう工夫されていると評価している	今後も継続して行っており、質の向上を図っていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校休業日は外出などを実施している。平日は放課後活動が有意義になるように短時間で取り組めるプログラムや学習支援を実施している。	一方で、毎月恒例のイベント(フリーマーケットなど)があるため少しプログラムが固定化しているというご意見があった。また、イベントが土曜日・祝日に実施されているため、平日のみご利用の保護者様から、違ったプログラムや遊び、活動を取り入れて欲しい、おもちゃや絵本などを増やしてほしいとのご意見もあった。	土曜日・祝日を中心にイベントを実施しているが、平日のみ利用の子どももいるため1週間を通したイベントなども検討していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	社員やセラピストを中心に毎月のイベントを考え、利用者のニーズを取り入れプログラムを変更している。		平日は放課後に宿題や言語聴覚訓練などのプログラムが組み込まれるため、短時間でできるプログラムをより工夫する必要がある。予算内で子どもたちが興味を持てる新しいおもちゃや絵本の購入も検討する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	専門職の意見も交えながら、学習・運動・自由遊びの時間の支援について担当と決めて確認している。		今後も継続して行っており、質の向上を図っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	子供の送迎後に、その日の報告と情報共有を適宜行っている。		今後も継続して行っており、質の向上を図っていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	指導員が連絡帳に子細に記入し、その日のうちにデータ化して事業所内に保存する方法を取っている。また、その日の支援の振り返りや職員会議にて支援の検証をし、改善策や対応策を共有している。		今後も継続して行っており、質の向上を図っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリング期間を設け、実施している。同様に、計画の見直しも行っている。		今後も継続して行っており、質の向上を図っていきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	子どもの状況に精通した管理職が担当している。		今後も継続して行っており、質の向上を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象となる利用者がいない。		対象となる利用者がいない。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象となる利用者がいない。		対象となる利用者がいない。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者・事業所等からの希望があれば対応している。系列の就労継続支援B型事業所を利用される場合は事業所間で情報共有を行っている。		今後、学校卒業予定者のための情報提供は本人と保護者の承諾の元、実施予定である。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修等への参加は業務に支障のない範囲で参加を促進している。		今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していない。	実施されていない。	ご要望があれば前向きに検討させていただきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	防犯上の観点から考え、実施していない。	月一回実施されているフリーマーケットが、事業所行事への地域住民が参加することにあたるのではとの声がある。	月に1回のフリーマーケットへの参加とトライやるウィークは今後も継続していく。他にもご要望があれば前向きに検討させていただきます。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	必要に応じて説明を行っている。	適切に説明が行われているといえる。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	簡単な説明は送迎時に行っている。難しい場合は電話での説明を行っている。	適切に説明が行われているといえるが、面談等を希望する声もある。	希望する保護者には面談等を実施し、支援内容の丁寧な説明を継続していく。	
3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在は実施していない。	ペアレントトレーニングは実施されていない。	希望により、実施予定をしています。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳、STでのリムで日常的に行っている。また、保護者の希望やセラピストが必要があると判断した場合には、STの見学を行っている。	STのリムや連絡帳での情報共有ができており、発達状況について、保護者との共通理解は十分になされているといえる。	送迎時や連絡帳での共通理解の徹底を継続していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	管理職、セラピストが子どもの発達状況や保護者の悩みに寄り添い個別面談を行っている。	概ね適切な対応が行われているといえるが、「どちらともいえない」という評価もいくつかあった。	管理職、セラピストの個別面談の周知徹底をしていき、希望する保護者には今後も継続して個別面談を行い、質の向上を図っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を定期的に実施し、保護者同士の悩みや経験の共有の場となっている。	保護者会に参加された保護者からは好評いただいているが、保護者同士の連携支援がされているか分からないという評価もあった。	今後も保護者会を実施し、保護者同士の連携支援を継続していく。また、保護者会の周知徹底をし、時期を見つつ定期的な開催をしていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理職が対応している。電話連絡、必要に応じて家庭訪問を行い、適切に対応している。	苦情がないため分からないという評価もあったが、苦情等に対して適切・丁寧な対応がなされているといえる。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	それぞれの特性に応じて対応している。	情報伝達について、適切な配慮がなされているといえる。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ブログやX、Instagram、YoutubeなどSNSを活用して発信している。次の月の利用予定表と一緒に行事予定と会報の発行を行っている。	会報やSNSにて情報発信されているといえる。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きの書類庫に保管している。オフラインのパソコンでのみ情報を扱う。個人情報はパソコン内に保管せずUSBにて保管、USBは金庫に保管している。	個人情報の取り扱いは概ね適切に行われている。	今後も継続して行っていき、質の向上を図っていく。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを策定している。職員への周知徹底をしている。	周知徹底が行われているといえる。	保護者への周知を徹底していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火災、地震、不審者侵入に対応した訓練を行っている。	必要な訓練が児童・職員ともに行われているが、訓練が行われているかは分からないというお声もあった。	実施状況をSNSや紙面を用いて保護者への周知を徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルに基づく職員研修を実施している。		今後も継続して行っていき、虐待防止に努めていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	子ども及び職員の身体・生命に危険が及ぶと想定された場合は行っている。契約時に必ず説明しており、必要な場合は保護者に許可を得ている。		今後も継続して適切な対応に努めていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書が提出されている子供がいないが、家庭からの指示があれば対応している。		今後も継続して適切な対応に努めていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例発生時は書式に従って書類作成後、職員間で回覧し、捺印で共有を確認している。		今後も継続して行っていき、怪我や事故がないように努めていく。